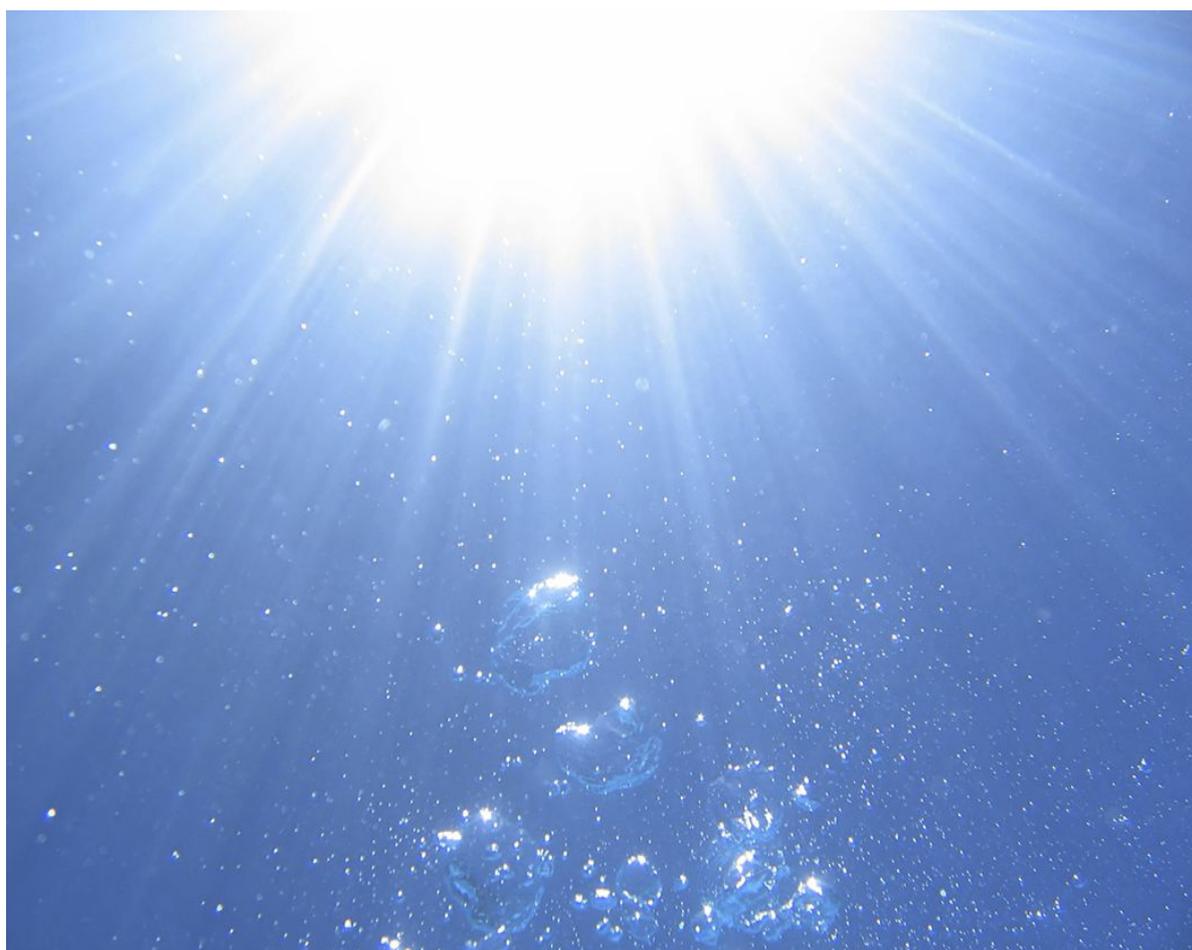


大野町水道ビジョン概要版

安全で安定した水の供給を目指して！



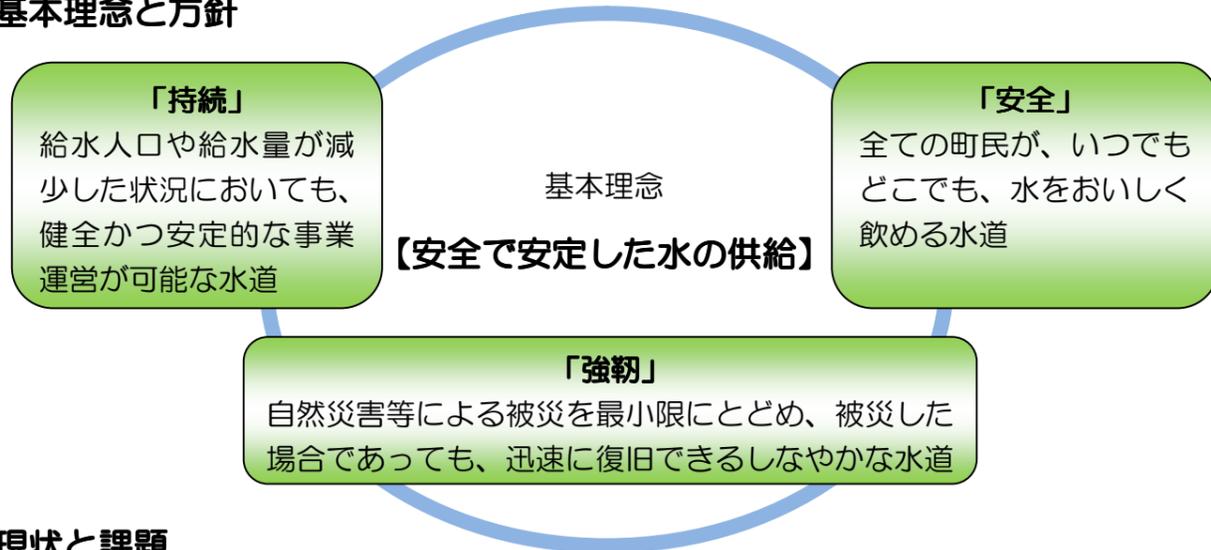
平成27年度更新版

大 野 町

1 水道ビジョン(更新版)の目的

大野町水道ビジョン策定から5年が経過したことから、水道施設状況、財務状況、事業運営状況などの変化と、平成25年3月に厚生労働省より公表された「新水道ビジョン」の趣旨を踏まえるとともに、平成27年度からスタートした「大野町第六次総合計画」に基づく形で、水道ビジョンの見直しを行うものです。本計画では、前ビジョンの基本理念である「安全で安定した水の供給」を踏襲した上で、「持続」、「安全」、「強靱」を柱として基本方針を定め、目指すべき将来像とその実現のための施策を示すことを目的としています。尚、計画の目標年次は10年後の平成37年度としています。

2 基本理念と方針



3 現状と課題

本町の水道は、昭和47年に上水道事業の認可を受け、昭和50年に町北部を中心に給水を開始以来、順次拡張を行い、平成19年には町全域へ給水できる体制となっています。

現在、管布設後約40年が経過し、施設や配水管の老朽化が進んでいることから、電機・機械施設の更新や配水管の布設替え、耐震管への更新が必要となっています。

しかしながら、耐震管路への更新には、莫大な費用と年月が必要となる為、耐震管の更新をしつつ延命対策として、過去の漏水修繕の結果を踏まえ、布設後の経過年数の古い管を対象に、漏水調査を実施し、効率的な有収率の向上に努め、事業の安定的経営にも留意していく必要があります。

4 実施施策

＜持続＞～給水人口や給水量が減少した状況においても、健全かつ安定的な事業運営が可能な水道～

施策の方針	実施施策
経営の健全化	○適切な財政計画の整備
	○省エネルギー対策の推進
	○有収率の向上
効率的な施設整備	○適正な更新時期の設定
	○将来の水需要を見据え、ダウンサイジングも考慮した効率的な施設更新
需要者への情報開示	○町ホームページの充実
	○広報誌等による情報の提供
	○施設見学による水道への理解の向上

関連する主な業務指標の目標値(平成37年度)

業務指標(PI)	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値	備考
経常収支比率	%	107.2	97.0	111.2	100以上	経常収益の経常費用に対する割合(100%以上が望ましい)
有収率	%	66.8	66.1	67.0	81	料金収入のあった水量の全給水量に対する割合

＜安全＞～全ての町民が、いつでもどこでも、水をおいしく飲める水道～

施策の方針	実施施策
水質リスクの把握と対策	○水源から給水栓までの水質に対するリスクの把握
	○水質リスクに対する適切な対策、体制を整える
水質管理の強化	○水質検査機器の定期点検の実施
	○貯水槽の衛生対策
水源の適正な管理	○地下水位の定期的な観測
	○取水施設のメンテナンス

関連する主な業務指標の目標値(平成37年度)

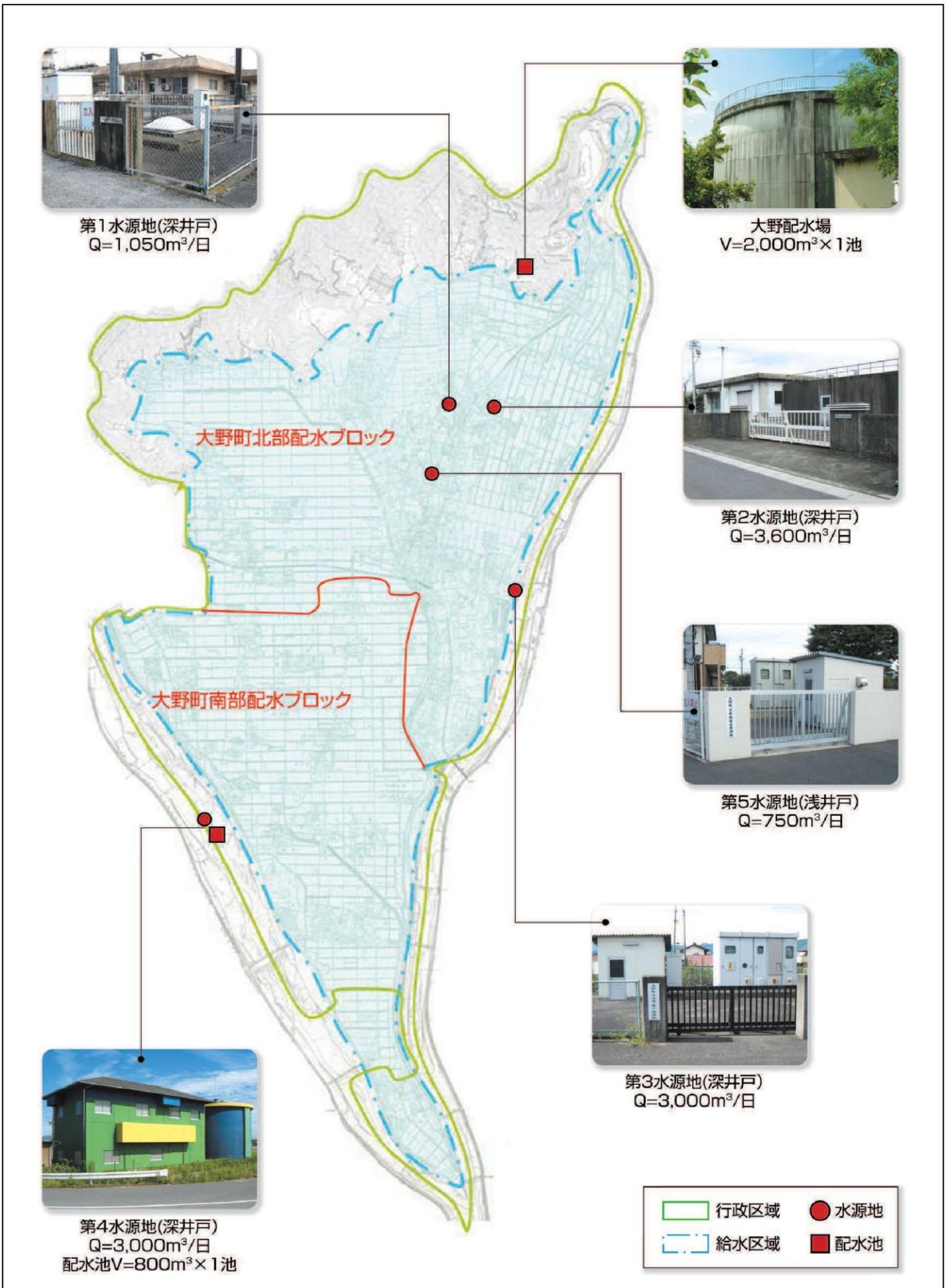
業務指標(PI)	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値	備考
水質事故数	件	0	0	0	0	水質に係わる事故件数
水質基準不適合率	%	0	0	0	0	水質基準不適合回数/全検査回数に対する割合

＜強靱＞～自然災害等による被災を最小限にとどめ、被災した場合であっても、迅速に復旧できるしなやかな水道～

施策の方針	実施施策
施設の耐震化	○主要施設の耐震診断・耐震補強
	○管路の耐震化・ループ化
施設の長寿命化	○点検・診断を行い、修繕・更新を効率的かつ効果的に実施
危機管理体制の整備	○復旧支援体制の強化
	○地図情報システムによる水道施設台帳の整備

関連する主な業務指標の目標値(平成37年度)

業務指標(PI)	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値	備考
ポンプ所耐震施設率	%	78.6	78.6	78.6	100	耐震化済ポンプ所能力の全ポンプ所能力に対する割合
管路の耐震化率	%	15.6	16.5	16.8	30	耐震化済管路延長の管路総延長に対する割合



大野町上水道施設位置図